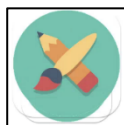


1人1台端末の活用による実践事例 （持ち帰り時の授業保障）

学校名	県立東備支援学校	実践者名	竹林 彩
実践場面 （教科）	生活単元学習（理科）		
単元・題材名	「月の観察をしよう」		
学習目標・ねらい	・月の形や時刻ごとの位置などを記録することで、月は日によって形が変わって見えることや、時刻によって位置が変わることに気付くことができる。		
対象の児童生徒の実態	・高等部３年生 ・最高気温や最低気温、時刻ごとの天気など、天気予報の読み取り方について学習し、天気調べに継続的に取り組むことで、空の様子に関心をもちつつある。 ・夜に空を見上げることはほとんどなく、星や月について学習に取り組んだこともほとんどないのが現状である。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
（１）毎日決まった時刻に月の形を観察し、絵日記アプリに記録する。  （２）コンパスアプリを使って１時間ごとの月の位置（方位）を、keynote の表に記録する。   （３）Meet や Zoom を使ったりリモート授業時に、月の形や位置について、記録をつけて気付いたことを生徒同士で話し合う。			
活用のポイント・改善策等			
・月の形を継続して記録していくことで、日によって形が変わることに自分で気付けるようにする。 ・天気についての既習事項を活用し、天気によって月が見えたり見えなかったりすることにも気付けるようにする。 ・コンパスアプリを活用することで、方位についても学習することができる。 ・次単元では、星座アプリ（星座表）を活用し、月と同じで時刻によって位置が変わることや、明るさや色の違う星があることを知る学習に取り組む。			